

平成25年度 第3回函館市行財政改革推進統括会議

日時 平成25年11月8日（金）15：00～16：00
会場 市長会議室
参集者 工藤市長，中林副市長，片岡副市長，山本教育長，秋田企業局長，
吉川病院局長，谷口企画部長，川越総務部長，山田財務部長

議題 ◎平成26年度事務事業・組織機構の見直しによる職員数の見直しについて
＜対応：万丈行政改革課長＞

◆議題の趣旨◆

平成26年度事務事業・組織機構の見直しによる職員数の見直しについて，協議を行いました。

◆協議の結果◆

平成26年度事務事業・組織機構の見直しによる職員数の見直しについては，概ね了承されました。

◆主な発言◆

（工藤市長）

農林水産部職員に農業委員会事務局職員を兼務させるとのことだが，支障はないのか。

（総務部長）

行政委員会としての独立性は当然保たなければならない。ただ，農業振興業務については互いに重複している業務であり，また，農林水産部農務課が行ってる業務と連動するものも多いことから，一体的に取り組むことによって，より効率的・効果的な業務執行が期待できる。

農業委員に対しては，現在，農林水産部のほうから順次説明しており，理解も得られる見込みである。

（工藤市長）

執務室はどうなるのか。農業委員の方達の部屋も確保できるのか。

（総務部次長）

現在，農業委員会事務局と農林水産部の執務室は離れているが，同じスペースで執

務できるように、関係部局と調整中であり、農業委員の方達の部屋も当然確保する方向で考えている。

(中林副市長)

環境部で増員しようとしている「新廃棄物処理システム構築担当」については、今後の計画期間や作業工程などを考えると、平成26年度段階においては、参事3級よりも主査職以下の担当者を配置するほうが効果的なのではないか。

(行革課長)

環境部では、新たな廃棄物処理施設整備基本計画の作成に平成26年度中から着手したい考えを持っており、専門委員会の立ち上げや既存の関係審議会への対応、あるいは市民議論等に対して早めに準備を進める必要があると考えている。

一方で、新廃棄物処理施設の供用開始は、現段階での予定で、平成39年度と10年以上先のことでもあるので、今後の進め方も含め、平成26年度の業務内容や必要な職位について、改めて確認・整理をすることとしたい。

(中林副市長)

参事職の配置については、全体を通して、改めてその必要性を精査すること。

(行革課長)

了解した。
